住民本位つらぬく 44年の歴史をきざみ 羽村民報は1000号になりました

羽村民報は１９６７年創刊され、1000号となりました。
１９６７年４月の羽村町議会議員選挙に日本共産党として初めて、木下卯一さんが立候補しました。

●保育園の増設　●公営住宅の建設　●教育費の父母負担をなくす
●ガードレールの設置　●「でこぼこ道」「どろんこ道」をなくす

などの公約をかかげてがんばりましたが、あと１６票差で当選できませんでした。

１９７１年　木下卯一さんトップ当選

それから４年間、木下さんは羽村駅頭に立ち続け、国際電気社宅前のガードレール設置など身近な要望実現に奮闘するなどして、みごとトップ当選を果たしました。
下は羽村町議選政策 のチラシのイラストです。

公約として掲げた
●子どもの医療費無料化
●老人医療費無料化
●義務教育費父母負担軽減
●児童館の建設
●図書館、福祉会館建設
●町立保育園の建設
●小学校区毎に学童保育所
●駅周辺に自転車置場
●公営住宅の建設
など多くが、その後実現しました。

ジャリ穴、ごみ公害が全国的ニュースに

現在の三中や羽村高校などの一帯には広大なジャリ採掘跡地があり、有害な産業廃棄物や生ごみ等が、無秩序に持ち込まれ、悪臭とカラスの群れ、松林小学校の教室はハエだらけとごみ公害に悩まされていました。羽村民報も公害の告発を積極的に行い、羽村町（当時）あげての運動となり、ごみ公害解決へ大きく動き出しました。

大反響　羽村駅西口区画整理の「重ね図」

羽村市が強引にすすめていた羽村駅西口土地区画整理事業の計画図と住宅地図を２色刷りで重ね合わせた羽村民報号外を全戸配布、関係住民から「晴天の霹靂」「ゆるせない」と大きな反響が寄せられ、羽村駅西口区画整理反対運動が急速に広がっていきました。

ＪＲ羽村駅、小作駅時刻表も好評

２０年前から毎年、ＪＲ東日本ダイヤ改正の時に、羽村駅、小作駅時刻表を各家庭に配布してきました。駅での配布でも多くの人が「ありがとう」「助かります」と好評です。１２月４日ダイヤ改正の時刻表も近々各家庭に配布します。

無料法律相談
日時　1月18日(火曜日)午後1時半
場所　羽村市委員会事務所
予約は
中原まさゆき　電話　554-1163
市川　えい子　電話　554-1140
鈴木　たくや　携帯電話 080-1058-9450
倉田　まなぶ　携帯電話 080-3460-0064

羽村民報
2010年12月126日　№1000
発　行　羽村民報編集委員会
責任者　野　崎　　衷
日本共産党羽村市議団のホームページ
http://www.jcphamura.org
事務所 電話579-2132 FAX579-2106